

# 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2018 年 4 月 25 日作成

研究課題名	胃癌の予後因子に関する研究
研究の対象	2000年1月から2015年6月までに横浜市立大学附属病院の一般外科で胃癌に対して手術を施行された患者さんが対象です。
研究目的・方法	横浜市立大学外科治療学関連施設で収集された4500例のデータを用いて、胃癌の全生存期間、無再発生存期間などに寄与する危険因子を統計学的に解析する多施設共同の後ろ向き研究です。今回の研究で、胃癌の治療成績に関わる様々な因子の解析を行い、今後の胃癌治療の開発に役立てていきます。
研究期間	西暦 2016 年 9 月 1 日 ~ 西暦 2021 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	収集するデータは患者情報（年齢・性別など）、術前情報（身長・体重など）、手術情報（術式・手術時間など）、術後情報（術後合併症・入院期間など）、病理情報（胃癌の進行度など）です。
外部への試料・情報の提供	外部への試料・情報の提供はありません
外部からの試料・情報の取得と保管	本研究は通常診療において得られた既存の情報を収集して行う。各研究機関では、収集したデータ管理は、ネットワークから独立したPC内でデータベース化する。紙で保管する場合は、ファイルに綴じて保管する。管理する際は、個人情報の保護に留意し厳重に管理を行う。共同研究機関の提供する情報は、主たる研究機関である横浜市立大学附属病院 外科治療学に、集積したデータにパスワードをかけて提出する。本研究のため収集しデータベース化した情報のデータマネジメントを横浜市立大学附属病院 外科治療学医局で行い、パスワードのかかるPC内で行う。既存情報の授受に関する記録として、本研究計画書を保存する（提供を行う機関；情報を提供してから3年、提供を受ける機関；研究終了から5年）。
研究組織	横浜市立大学附属病院 外科治療学

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

# 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9

横浜市立大学附属病院 外科治療学（研究責任者）益田 宗孝

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-787-0226